

民具資料を調査・整理しています



生涯学習課では、村内の小学校に保管されていた民具資料や昔の道具を、村文化財保護審議員の皆さんと整理・調査しています。民具は、農作業や養蚕の道具、木挽きで使用した大きな鋸など山仕事の道具、炭焼きの道具など200点以上。山と共に生活してきた飯館の特徴的な民具も見られます。民具は、衣・食・住など用途別に分類し、清掃後、計測・撮影し資料カードに記録します。将来的には、文化祭での展示などで村民の皆さんに見ていただいたり、学校教育の場で活用したりして、未来に遺していきたいと考えています。

わくわく農業体験塾 夏野菜からスタート!



野菜づくりを村の名人に学び、参加者同士の交流を通して充実した時間を楽しむことを目的にした「わくわく農業体験塾」がスタートしました。6月4日に実行委員会が開かれ、「作物管理を学びたい」「みんなで収穫祭をしたい」など、今年行いたいことを話し合いました。その後、村内の圃場にてナスやオクラ、ヤーコンなどの苗を植え、土の感触を味わいました。齊藤次男塾長(深谷)と、12人の塾生が夏野菜の成長を楽しみに活動しています。新規塾生として参加してみたい方は、生涯学習課 ☎0244-42-0072 までお問い合わせください。



防災体験でテントを設営しました



それぞれの願いを短冊に込めて飾りました



村内のレストラン「La Kasse(ラカッセ)」を訪れコース料理を堪能。食事のマナーも学びました

今まであまり話していなかった友達と仲良くなったのがうれしかったです。

7月2日から9日にかけて、「令和4年度わくわくどきどき合宿通学」が行われました。参加者は、「いいいて希望の里学園」の4～6年生の児童、計16人。飯館村地域防災センターに宿泊し、食事の準備や片付け、掃除・洗濯など、各班で分担し協力して取り組んでいました。

この合宿通学は、「集団生活を通して、きまりや公衆道徳を身につける」「食事や片付けなどを自分達で行い、社会性や自立性を育てる」「友だちとの生活によって

協調性を養い、楽しい思い出をつくる」ことを目的としています。役場職員、給食調理員、福島大学の学生ら計20人がスタッフとして参加し、安全確保や見守りなどのサポートを行いました。

初めは楽しさで興奮気味だった児童たちでしたが、閉講式では、初めて一人でできたことやスタッフへの感謝を各々が発表し、13年ぶりの合宿通学が幕を閉じました。参加した児童の達成感に満ちた表情が、体験の充実を物語っていました。



食事の準備も協力しながら行いました

幻想的な時間を過ごしました



大野智裕先生を招いて開いた「星の教室」



宿題や振り返りもしっかり取り組みました

初めて自分で洗濯機を使って、洗濯ができました。おうちでも頑張りたいと思います。

わくわくどきどき合宿通学

体験も盛りだくさん

- マイ箸づくり
- ナイトプール
- バーベキュー

- 風力発電所を見学
- 星の教室
- 七夕飾り
- 夜の花火
- レストランで食事



配膳・片付けも力を合わせて丁寧に



最後の夜には花火を楽しみました



食事には、初日に自作した箸を使って

世界に一つオリジナルの箸だよ

私たちのためにお手伝いをしてくれたスタッフの皆さん、ありがとうございました。